

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 7日

事業所名 子ども発達支援センターこぶし園

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	8	2	0	・廊下や個室を使うなど工夫。運動遊びは狭く感じる場合もある。 ・勉強部屋、遊ぶ部屋等、活動内容によってわけている。	
	2	職員の配置数は適切である。	9	1	0	・部屋の各担当を決めるなど工夫しており、職員の配置が不足を感じることは少ない。 ・平日の学校への迎えにより、職員が数名、同時帯に不在となる事がある。今後の課題。 ・一対一で職員がついた方が良いお子さんに1人、1部屋に1人、トイレの介助に1人を基準として配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている。	7	2	1	・エレベーターを利用する。 ・玄関のところが段差になっている。 ・階段がある。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	6	4	0	・個別支援計画の作成のため、皆で報告し合える時間を設けている。 ・支援計画、評価、次の支援計画作成のサイクルで行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	9	1	0	・保護者の希望を100%受け入れる事が出来ない場合もある。 ・より多くの回答を得るためにGoogleフォームによる投稿を取り入れている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	10	0	0	・アンケート集計担当の職員を設置し、毎年必ず行っている。 ・毎年同じ時期に行っている。ただ担当がずっと同じなので、変えた方が良いと思う。	・担当職員を配置していたが、他の職員もできるように業務を検討していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	1	3	6	・分からない。 ・第三者に頼むと料金が発生する。法人がするという事であればする。	・総合支援協議会等で課題にしていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	10	0	0	・現場に支障の無い範囲で、研修に参加出来るように努めている。 ・最低一年に1人1回の研修を目標に計画を立てて行なっている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	8	2	0	・情報を皆で共有する時間を設定している。	

10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	6	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・こぶし園でアセスメントを取る時間がないので、医療や学校からのアセスメントを活用して立てている。 ・分からない。 ・9に同じ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療や学校から提供されたのアセスメントがある場合は全職員に共有するようにする。
----	---	---	---	---	---	--

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている。	8	2	0	・分からない。	・活動プログラムは担当職員が立案して他職員に周知を行ってきたが、今後は複数の職員が携わって周知されるようにしていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	9	1	0	・曜日によってお子さんのタイプが違う為、特性に合った活動内容を考慮している。 ・他事業所を見学して良いと思われるものを取り入れている。 ・担当職員がお子さんの特性に応じて活動を企画している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している。	6	3	1	・平日は、送迎で職員がなかなか揃わないため、細やかな活動設定は出来ない。 ・気付いていなかったのを、努めたい。 ・平日は細かい活動を設定できていない。	・放課後は長期休業中のような活動は行えていない。 ・直近では放課後にeスポーツの時間を設けるようにした。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している。	10	0	0	・親のニーズと本人の状況が一致しない場合は、面談等で丁寧に話をし納得してもらえるように努めている。	
適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	10	0	0	・昼の会を毎日出来るように努めている。 ・毎日の昼の部会で、お子さんの支援方法について話し合いをしている。 ・昼の会で行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	4	5	1	・当日は難しいが、翌日等に伝えている。 ・その日の内に出来なかった情報共有を、翌日の朝礼または昼の会で行えるように努めている。 ・会は設けていないが、何か気がついた時点ですぐ報連相している。 ・次の日の支援前に共有する機会を設けている ・勤務の都合上、支援終了後に行うのはできていないが、次の昼の会でするようにしている。	・勤務の都合上、支援終了後に振り返りをする事はできないが、これまで通り次の日の朝礼や昼の会で振り返りを行っていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	10	0	0	・記録を記入後も、気になる事項があった場合は、皆で情報の共有、改善を早めに行うように努めている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している。	6	3	1	・半年に1度しか行えていないのが現状である。	・短い期間でモニタリングできていないが、6か月に1回モニタリングを実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている。	8	2	0	・ボランティアの方々にも協力してもらい、様々な経験をお子さんに積んでもらえるように工夫している。 ・支援計画に項目立てている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	9	1	0	・特になし。現状維持に努める。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている。	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校側が積極的ではない事が多い。(こちらからの一方通行がほとんどである。) ・担当職員が計画的に調整している。 	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている。	0	6	4	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児は、現在受け入れを行っていない。 ・該当者がいない。 ・医療的ケア児は利用していない。 ・利用がない。 	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	7	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない。 ・こぶし園の児童発達事業を利用されていた場合は共有ができています。 	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。	7	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、移行支援会議等に参加している。 	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	3	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な研修に、皆が参加出来るように努めている。 	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。	2	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・親のニーズがあれば、検討する。 ・ニーズがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズを踏まえながら、事業所としてできることを考えていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している。	7	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・参加出来るように努めている。 	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	10	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1度の面談や、お迎え時に情報共有を行っている。 	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている。	6	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身は、行えていないと感じる。 	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	8	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・初回面談時には、なるべく職員を二人配置し、大事な話については特に丁寧に説明、納得を得ている。 	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が相談に乗れない時は、上司や先輩に相談して対応してもらっている。 	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	5	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からのニーズをあまり感じないため、頻繁には行えていないと思う。 ・コロナにより休止中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人主催の家族会で防災の研修会を行った(主に中高生向け)

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	10	0	0	・苦情処理委員会等で必ず話し合いの場を設けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	10	0	0	・公式LINE等で、その都度発信している。	
	35	個人情報に十分注意している。	10	0	0	・特に無い。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	10	0	0	・障害特性に合わせたツールで、皆で統一した配慮が出来るように努めている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	4	3	3	・コロナ禍以降、積極的には図れていないと感じる。 ・ニーズがない。	・今後、事業所として何が出来るか考えていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している。	7	3	0	・徹底出来ていると思うが、日々状況が変わる案件については、その都度保護者への周知は不明な点もある。 ・職員には周知している。 ・保護者への周知は不十分かもしれない。	・保護者の方への周知の仕方については担当職員と検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	10	0	0	・行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	10	0	0	・虐待防止委員会の開催を定期的に行い、情報共有に努めている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	10	0	0	・保護者に個別で説明を行い、了承を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	6	3	1	・医師の指示書とまではいかないが、保護者からの報告・指示に基づいて対応している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	10	0	0	・その都度共有し、改善策を早急に話し合っって実行している。		